

平成 25 年度 南信州地域交通問題協議会 総会 議事録

概 要

日 時：平成 25 年 6 月 20 日（金） 14:00～15:15

会 場：飯田消費生活センター 2階会議室

出席者：P 4

<協議事項>

(1) 第 1 号議案 平成 24 年度決算報告について

(2) 第 2 号議案 平成 25 年度予算（案）について

(3) 第 3 号議案 「生活交通ネットワーク計画」について

- ①飯田市（飯田市地域公共交通改善市民会議）
- ②松川町（松川町地域公共交通対策協議会）
- ③阿南町（下伊那南部地域公共交通対策協議会）
- ④阿智村（阿智村地域公共交通協議会）
- ⑤豊丘村（豊丘村地域公共交通会議）
- ⑥根羽村（西部コミュニティバスを守り育てる会：地域公共交通会議）

(4) 第 4 号議案 第二次南信州地域公共交通総合連携計画の進め方について

- ①第一次総合連携計画の評価について
- ②第二次総合連携計画策定に係る今後のスケジュールについて

・議事に入る前に、委員変更について南信州地域交通問題協議会事務局仲田より説明。

<協議内容>

(1) 第 1 号議案：平成 24 年度決算報告について

- ・協議事項(1)について、南信州地域交通問題協議会事務局仲田より説明。
- ・内容に関する質疑応答は特になかった。
- ・議案の通り、承認された。

(2) 第 2 号議案 平成 25 年度予算（案）について

- ・協議事項(2)について、南信州地域交通問題協議会事務局仲田より説明。
- ・内容に関する質疑応答は特になかった。
- ・議案の通り、承認された。

(3) 第 3 号議案 生活交通ネットワーク計画について

- ①飯田市（飯田市地域公共交通改善市民会議）
- ②松川町（松川町地域公共交通対策協議会）
- ③阿南町（下伊那南部地域公共交通対策協議会）

- ④阿智村（阿智村地域公共交通協議会）
 - ⑤豊丘村（豊丘村地域公共交通会議）
 - ⑥根羽村（西部コミュニティバスを守り育てる会：地域公共交通会議）
- ・協議事項(3)について、各市町村の公共交通担当者より説明。

※質疑応答は以下のとおり

（名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻 加藤准教授）

阿智村の昨年度の事業評価について、A評価のものもC評価のものも今後の改善点が同じでいいのか。良く考えなければならない。それから、阿智村の啓蒙活動や下伊那南部地域の啓発活動は具体的に何をするのか。またそれをネットワーク計画にかかればいけない。

（阿智村 総務課 山田主事）

系統が20系統もあるものですから、同じように書いてしまったので今後改善していきたいと思えます。また具体的な啓蒙活動としましては、温泉の健康教室や広報やホームページによってPRしていきたいと考えております。

（下伊那南部地域公共交通対策協議会事務局 宮島係長）

南信州地域交通問題協議会でもホームページなどで周知をしていますが、手段が無く困っている方は見るのですが、免許を持っていて公共交通を利用しない方はあまり興味がありません。チラシを配っても費用対効果が少なくすぐに効果が出ないですが、何らかの方法を検討して啓発活動を行いたい。

（名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻 加藤准教授）

何らかの方法とは何かということ。また今すぐに修正するという事ではない。現在国土交通省で今後の改善点を含め、事業評価のフォーマットを見直している。単に啓発や利用促進を行いたいということではなく、今までのやり方ではだめなので、啓発や利用促進として具体的にこういうことをやって行きたいということを記載する。また協働推進事業で各協議会で具体的に何をやっていけばいいのか検討していく。また阿智村の評価については、系統ごとではなく、路線ごとにまとめて評価すれば問題ありません。

（名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻 加藤准教授）

飯田市の地域間幹線の事業評価の目標が運行目標で示されていますが、ネットワーク計画では輸送量が目標になっていますが、目標の項目が変更したということですか。

（飯田市リニア推進課 木下交通政策係長）

評価はここに示した項目を評価すればよいと解釈しております。

（名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻 加藤准教授）

通常は、ネットワーク計画で運行目標をたてられて事業評価ではその目標を評価するという事なので運送量に対して評価しなければならない。地域幹線は県協議会なので参考資料ということですね。いずれにしてもご確認ください。

- ・指摘された項目を修正し、承認された。

(4) 第4号議案 第二次南信州地域公共交通総合連携計画の進め方について

① 第一次総合連携計画の評価について

② 第二次総合連携計画策定に係る今後のスケジュールについて

- ・ 協議事項(4)について、南信州地域交通問題協議会事務局仲田より説明。
- ・ 内容に関する質疑応答は特になかった。
- ・ 議案の通り、承認された。

< 報告事項 >

(1) 平成24年度運行実績について

報告事項(1)について、南信州地域交通問題協議会事務局仲田より説明。

※ 質疑応答は以下のとおり

(名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻 加藤准教授)

考察の中で、駒場線は通学定期の売り上げにより高校生の利用者が伸びていることはわかるが、阿南線の記載がありませんが増加した理由はなんですか。

(事務局)

阿南線も高校生の利用が増えており利用者が増加しております。

(名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻 加藤准教授)

全体を見ますと大きく下回っている路線もある。スクール輸送だとすると小中学生の母数で決まってしまうので、多くなったから頑張っているとか、少なくなっているから頑張っていないとかではなくて、高校生が減った割には、利用者が変わっていないとか、高校生が同じぐらい利用しているのに、それ以上に利用者が多くなっている。つまり占有率(定着率)を分析して報告していただきたい。どういう方が乗っているかももう少し細かく分析することで、先ほどの啓蒙・啓発活動につながり具体的に行動にうつしていただくことができる。それとネットワーク計画の評価を運行実績の評価に記載する。また、次期総合連携計画の中で各路線の目標を評価できるように検討したい。

(2) 学生定期券・タクシー券回数販売実績について

- ・ 協議事項(4)について、南信州地域交通問題協議会事務局仲田より説明。
- ・ 内容に関する質疑応答は特になかった。

(3) JR飯田線乗り継ぎタクシーの運行について

- ・ 飯田市リニア推進課 木下交通政策係長より説明。
- ・ 内容に関する質疑応答は特になかった。

(4) 協議会委員の変更について

- ・ 開会に先立ちご紹介済。

(5) 「地域協働推進事業」について

- ・国土交通省 北陸信越運輸局 長野運輸支局 中牧首席運輸企画専門官より説明。
- ・名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻 加藤准教授より補足説明。

当初、南信州地域交通問題協議会では、今年度総合連携計画策定年度でもあり、利用促進計画をしっかりと練り、来年度以降に協働推進事業の申請を検討する方針であったが、国庫補助を受けていない既存系統に関して、協働推進事業を申請することで、地域内フィーダー系統の認定になり、財政的に有利になるため、今後事務局により申請の検討をおこなう。

以上

南信州地域交通問題協議会 総会（H25. 6. 20） 出欠名簿

（敬称略）

区 分	所属団体等	委員名		代理出席者氏名		出 欠
		役 職	氏 名	役 職	氏 名	
公共交通利用者 （住民代表）	飯田市地域公共交通改善市民会議	会 長	湯澤 英範			○
	飯田市地域公共交通改善市民会議	副会長	藤本 良人			○
	松川区長会	区長会長・部奈区長	北林 昌幸			×
	喬木村	区長会長・小川区長	田中 利明			○
	根羽村	住民代表	小木曾 利満			×
	阿智村浪合地区	浪合自治会長	佐々木 重義			×
	下條村	下條中学前PTA会長	久保田 克郎			○
	阿南町	阿南町老人クラブ連合会・会長	酒井 政勝			○
環境団体	地域ぐるみ環境ISO研究会	会 長	萩本 範文	事務局	沢柳 俊之	○
福祉事業者	社会福祉法人 飯田市社会福祉協議会	会 長	福田 富廣			○
学校関係者	下伊那地区高等学校長会 （会長：長野県飯田高等学校長）	教 頭	西條 浩章			○
商工関係者	飯田商工会議所	会 頭	柴田 忠昭			×
	長野県商工会連合会南信州支部広域協議会	チームリーダー	清水 衆一	専門経営指導員	井口 公男	○
公共交通 事業者	東海旅客鉄道(株)飯田支店	支店長	小林 昇	係 長	梶川 健一	○
	信南交通(株)	社 長	中島 一夫	高速乗合課長	林 浩人	○
	伊那バス(株)	社 長	藤澤 洋二	管理課長	福澤 信義	○
	長野県タクシー協会下伊那支部	支部長	鈴木 佳史			○
	大新東(株)北陸・信越支社	支社長	木下 宏	長野担当	下沢 義光	○
公安委員会	飯田警察署	署 長	須江 和幸	交通係長	北原 経夫	○
	阿南警察署	署 長	神田 庄市			×
学識経験者等	広域連合議会	議 員	清水 勇			○
	広域連合議会	議 員	島田 弘美			○
	名古屋大学大学院	環境学研究科 都市環境学専攻 准教授	加藤 博和			○
道路管理者	国土交通省飯田国道事務所	所 長	花木 道治	副所長	鶴巻 歳裕	○
	長野県飯田建設事務所	所 長	山岸 勲	維持管理課管理係長	倉澤 興平	○
行 政	下伊那地方事務所	所 長	石田 訓教	企画振興係長	林 俊秀	○
	飯田市	市 長	牧野 光朗			○
	松川町	町 長	深津 徹	まちづくり推進係長	西浦 素之	○
	高森町	町 長	熊谷 元尋	総務課防災安全係長	林 幸雄	○
	阿南町	町 長	佐々木 暢生			×
	阿智村	村 長	岡庭 一雄			×
	平谷村	村 長	小池 正充	総務課長	塚田 浩	○
	根羽村	村 長	大久保 憲一			○
	下條村	村 長	伊藤 喜平			×
	売木村	村 長	清水 秀樹			×
	天龍村	村 長	大平 巖	主事補	大平 成二	○
	泰阜村	村 長	松島 貞治			×
	喬木村	村 長	大平 利次	副村長	佐藤 博一	○
	豊丘村	村 長	下平 喜隆			○
	大鹿村	村 長	柳島 貞康	企画財政係長	間瀬 稔	○
	南信州広域連合	広域連合長	牧野 光朗			（再掲）
	オブザーバー	国土交通省 北陸信越運輸局 長野運輸支局	首席運輸企画専門官	中牧 俊明		
県企画部交通政策課		課 長	堀田 文雄			×
事務局	南信州広域連合	局 長	金田 光廣			事務局
		次 長	吉川 昌彦			事務局
		広域振興係長	近藤 善彦			事務局
		主査	宮島 剛			事務局
		主査	仲田 伸久			事務局